



**こころの病の家族とともに生きるために**

**～あまかれん(尼崎市精神福祉家族会連合会～**

# あまかれん(尼崎市精神福祉家族会連合会)とは

【設立】 平成2年

【会員数】 93人

【目的】 精神障害者が地域で安心して生活できるように家族を支援すること、また、地域社会における精神障害についての理解を促し、すべての人々が、ともに生きてゆける地域づくりに寄与すること。

【事業】

- ・会員の学習と親睦
- ・地域社会への啓発と働きかけ
- ・尼崎市に対しての要望活動
- ・事業に必要な資金調達活動(資源回収等)
- ・その他、会が必要と認めた事業

# 「こころの病の家族とともに生きるために」について

## 【内容】 講演会

講師:カウンセラー芸人 鮎川 ヒロアキ 氏

精神疾患の妻を持ち、支える側(家族)の当事者

【日時】 令和元年6月22日(土) 14:30~16:30

【場所】 尼崎市中央北生涯学習プラザ 小ホール

【広報】 市報掲載、家族会員や支援者へのチラシ配布  
民生委員や他の障害者団体等によびかけ など

【対象者】 こころの病の家族がいる人、当事者、支援者、  
市民、学生

【参加者数】 130人

(障害者10人、家族80人、その他地域住民等40人)

# 「こころの病の家族とともに生きるために」について

## 【実施目的】

精神障害の理解と啓発。こころの病を抱えた人やその家族が、自分の内なる精神疾患への偏見に気づき、そこから解放されることや、孤立しがちな家族が、その焦燥感や孤立感が和らぎ、元気を取り戻し、自分の人生を意味あるものと感じて暮らせることを目的とした。

こころの病の家族とともに生きるために  
～共に暮らす中で得た気づきと回復～  
講師 カウンセラー・芸人 鮎川ヒロアキ氏

精神疾患の妻を持ち、自らも「支える側(家族)」の当事者である鮎川ヒロアキ氏、NHK フォーラムでも好評だった、妻とのリアルな体験、本音の苦しみ、その中で見つけた幸せを語ります。笑って、泣いて、ふか～い・あったかい気持ちになり、そして気づきがあります。支える立場の人に勇気と希望を与えるお話です。

2019年6月22日(土)  
14:30~16:30

■会場 中央北生涯学習プラザ 3階小ホール  
尼崎市東難波町2丁目14-1 06-6482-1750  
◆アクセス:「尼崎総合医療センター」で検索ください。

■参加費 無料

■申し込み 不要 先着100名


■主催 あまかれん  
(尼崎市精神福祉家族会連合会)

■後援 尼崎市(予定)

■お問合せ 080-3787-3524 河上紀子

～講師紹介～  
1977年生まれ大阪出身。おおさかNSC16期生。メンタル心理カウンセラー・上級心理カウンセラーの資格を持つ。「エンタの神様」「バリバラ」等にも出演。

手話通訳あり





# 「こころの病の家族とともに生きるために」について

## 【効果】

障害のある人の家族や身近な人が、初めて病と出会った時の絶望感から解放され、自分自身を取り戻し、新たなアイデンティティを獲得していく助けができた。

アンケートの回答で元気が出た、勇気づけられた、気づきがあったとの声が多かった。また、要望として、当事者が地域で自分らしく暮らしていくことや家族のかかわりについて、引きこもり問題の解決に向けてが挙げられており、今後の事業展開に活かしていきたい。